



マーケット・レター

世界に広がるインカム投資の機会～米国高配当株編～

【お伝えしたいポイント】

- 金利の高止まり懸念や金融不安（銀行危機）など2023年も不透明な市場環境が継続する米国株式市場において、安定的な配当収益を期待して投資家のインカム志向が高まる
- 米国高配当株は長期的なインカム収益の積み上げ等により、米国株全体と比較して堅調なパフォーマンス

金融引き締めや金融不安の影響から、懸念される米国の景気後退リスク

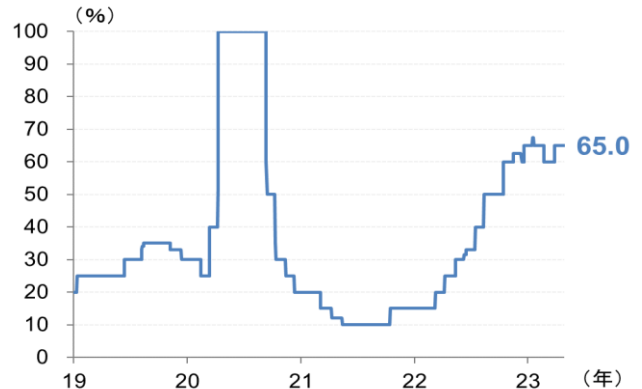
- 米連邦準備制度理事会（FRB）は、5月の連邦公開市場委員会（FOMC）において、0.25%の利上げを決定しました。FRBはインフレ抑制のため高金利政策を維持するか金融安定のため早期の利下げに踏み切るか、今後も難しい判断を迫られることになりそうです（図1）。
- 米国の景気後退確率の市場予想は65%まで上昇しており、金利の高止まり懸念や金融不安（銀行危機）等を背景に景気後退リスクが高まっています（図2）。

図1：米政策金利と
米10年国債利回りの市場予想



（出所）ブルームバーグ（期間）2020年1月1日～2023年5月12日
※市場予想は4月21日時点。

図2：米国の景気後退確率の市場予想

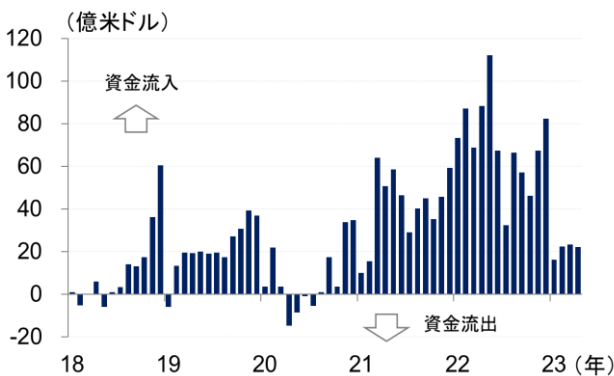


（出所）ブルームバーグ（期間）2019年1月初～2023年4月末
※市場予想は今後12カ月の景気後退確率

いま米国高配当株が注目される理由

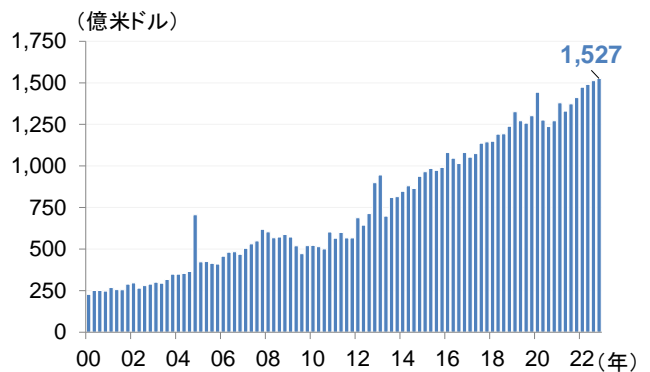
- 2023年以降も米国は、景気後退懸念など不透明な市場環境が継続しています。そのような環境下、配当・インカム株の上場投資信託（ETF）への資金流入が続くなど、配当を求める投資家のニーズが高まっています（図3）。
- 企業側でも配当による株主還元を重視しており、米国株の配当総額は足元で過去最高を更新しています（図4）。

図3：米国の配当・インカム株ETFの資金フロー



（出所）ブルームバーグ（期間）2018年1月～2023年4月
※配当・インカム株に着目した米国株のETFの資金フローを集計。

図4：米国株の配当総額



（出所）ファクトセット（期間）2000年1-3月期～2022年10-12月期
※対象はS&P500指数採用銘柄

●当資料は、説明資料としてフランクリン・テンプレートン・ジャパン株式会社（以下「当社」）が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したものです。その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。●当資料に記載された過去の成績は、将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。また記載されている見解、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●当資料は情報提供を目的としてのみ作成されたもので、証券の売買の勧誘を目的としたものではありません。●フランクリン・テンプレートン・ジャパン株式会社（金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第417号）はフランクリン・リソース・インク傘下の資産運用会社です。



不透明な環境においても底堅い米国高配当株

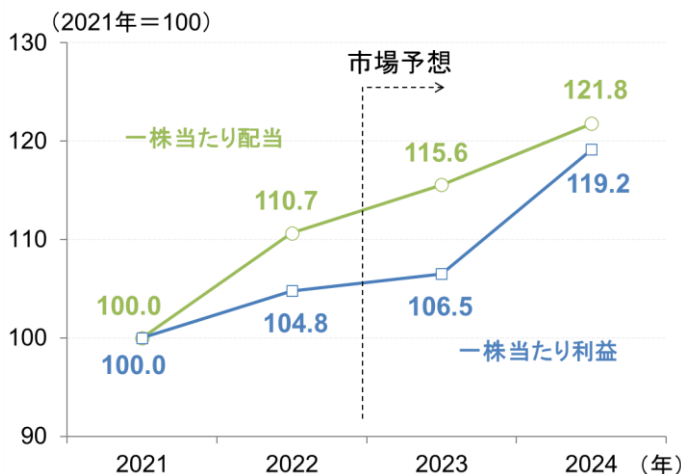
- 米国株の中でも、予想配当利回りが高い銘柄群のパフォーマンスはS&P500指数全体を上回っており、底堅さが顕著となっています(図5)。
- 2023年以降、景気後退懸念などを背景に利益の停滞が見込まれる中でも、配当は安定した成長が予想されており高配当株への注目は息の長いものとなりそうです(図6)。

図5：予想配当利回り水準別の米国株の
トータルリターン



(出所)ブルームバーグ (期間)2021年1月初～2023年4月末
※米国株はS&P500指数採用銘柄が集計対象

図6：米国の利益・配当見通し

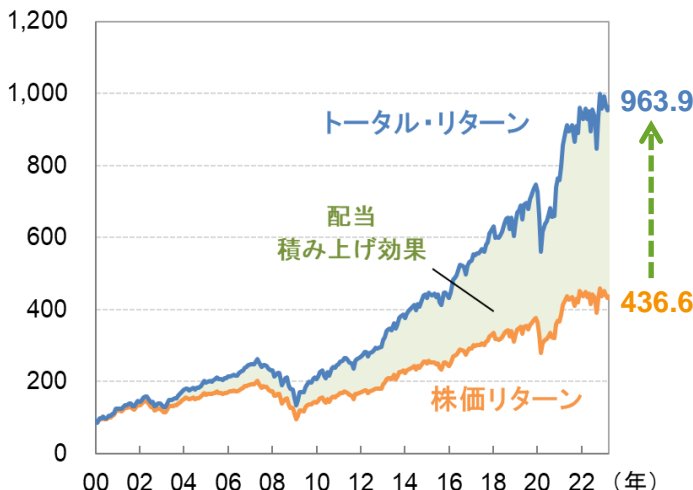


(出所)ファクトセット (期間)2021年～2024年
※市場予想は2023年4月28日時点

長期的なインカム収益の積み上げにより、米国高配当株は相対的に高いトータル・リターンを実現

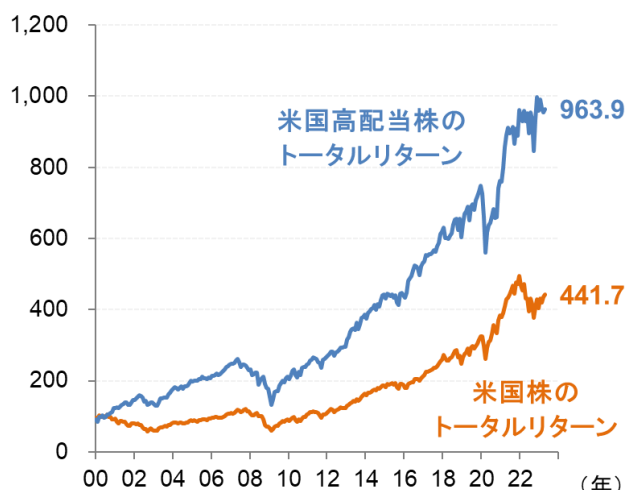
- 安定した配当収益の積み上げが米国高配当株のトータル・リターンの押し上げに寄与してきたことがわかります(図7)。
- 長期で見ると、相対的に高い配当を積み上げたこと等により、米国高配当株は米国株全体(S&P500指数)と比較して堅調なパフォーマンスとなっています(図8)。

図7：米国高配当株の
トータル・リターンと要因分解



(出所)ブルームバーグ (期間)2000年1月末～2022年4月末
※米国高配当株はS&P500高配当貴族指数
※1999年末を100として指数化

図8：米国高配当株と米国株の
トータルリターンの比較



(出所)ブルームバーグ (期間)2000年1月末～2022年4月末
※米国株はS&P500指数、米国高配当株はS&P500高配当貴族指数。※1999年末を100として指数化